



2022年10月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年3月16日

上場会社名 株式会社AB&Company 上場取引所 東
 コード番号 9251 URL <https://ab-company.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 市瀬 一浩
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0経営管理本部長 (氏名) 永島 光 TEL 03 (4500) 1383
 四半期報告書提出予定日 2022年3月16日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年10月期第1四半期の連結業績 (2021年11月1日～2022年1月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年10月期第1四半期	2,700	3.3	194	△45.3	172	△47.1	116	△44.8	116	△44.8	116	△44.8
2021年10月期第1四半期	2,613	10.0	355	4.6	326	7.6	210	6.2	210	6.2	210	6.1

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年10月期第1四半期	7.85	7.68
2021年10月期第1四半期	14.31	14.00

(注) 当社は、2021年8月18日開催の取締役会決議により、2021年9月4日付で普通株式1株につき20株の株式分割を行っております。そのため、2021年10月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年10月期第1四半期	19,117	7,100	7,100	37.1
2021年10月期	19,339	6,940	6,940	35.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年10月期	—	—	—	—	—
2022年10月期 (予想)	—	0.00	—	28.07	28.07

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年10月期の連結業績予想 (2021年11月1日～2022年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,464	23.4	2,207	45.8	2,106	48.9	1,383	47.0	1,383	47.0	93.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年10月期1Q	14,786,320株	2021年10月期	14,736,320株
② 期末自己株式数	2022年10月期1Q	ー株	2021年10月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年10月期1Q	14,776,537株	2021年10月期1Q	14,736,320株

（注）当社は、2021年9月4日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っておりますが、2021年10月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。また、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症オミクロン株の世界的な流行により、景気が急速に悪化し、個人消費にも大きな影響を与えました。まん延防止等重点措置が発令されるなど、今後についても先行き不透明な状況が続いております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績の状況は以下のとおりであります。

(売上収益、売上原価、売上総利益)

売上収益は、前第1四半期連結累計期間比86百万円増加し、2,700百万円（前年同四半期比3.3%増）となりました。新型コロナウイルス感染症オミクロン株の影響により1店舗あたりの平均売上収益は下がったものの、直営及びフランチャイズ店舗の積極的な新規出店により、直営美容室運営事業の売上収益が前第1四半期連結累計期間比で154百万円、フランチャイズ事業の売上収益が52百万円それぞれ増加したことが主な増収要因となります。

売上原価については、原価率の高いインテリアデザイン事業の売上収益が減少したことから前第1四半期連結累計期間比で6百万円の減少となり、1,344百万円（同0.5%減）となりました。

この結果、売上総利益は前第1四半期連結累計期間比93百万円増加し、1,356百万円（同7.4%増）となりました。

(販売費及び一般管理費、その他収益、その他費用、営業利益)

販売費及び一般管理費は、上場に係る費用の発生や事業拡大に伴う人員の増加、前連結会計年度における資産除去債務の見積りの変更に伴う減価償却費の増加等により前第1四半期連結累計期間比で222百万円増加し、1,138百万円（同25.5%増）となりました。

その他収益は、前第1四半期連結累計期間比で0百万円増加し、9百万円（同8.7%増）となりました。

その他費用は、前第1四半期連結累計期間比で32百万円増加し、32百万円（前第1四半期連結累計期間は0百万円）となりました。増加要因は主に減損損失や固定資産除却損の増加によるものです。

この結果、営業利益は前第1四半期連結累計期間比161百万円減少し、194百万円（同45.3%減）となりました。

(金融収益、金融費用、税引前四半期利益)

金融収益は、為替差益の発生により1百万円（前第1四半期連結累計期間は0百万円）となりました。

金融費用は、前第1四半期連結累計期間比で5百万円減少し、24百万円（同19.7%減）となりました。減少要因は借入金残高の減少により支払利息が減少したためです。

この結果、税引前四半期利益は前第1四半期連結累計期間比154百万円減少し、172百万円（同47.1%減）となりました。

(法人所得税費用、四半期利益)

法人所得税費用は、前第1四半期連結累計期間比59百万円減少し、56百万円（同51.4%減）となりました。

四半期利益は、前第1四半期連結累計期間比94百万円減少し、この結果、四半期利益は116百万円（同44.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(直営美容室運営事業)

直営美容室運営事業につきましては、新規出店により売上収益は154百万円増加し、2,182百万円（同7.6%増）となりました。

一方で、新型コロナウイルス感染症オミクロン株の影響による1店舗あたりの平均売上収益の減少や資産除去債務の見積りの変更に伴う減価償却費の増加等により、セグメント損失は55百万円（前第1四半期連結累計期間はセグメント利益47百万円）となりました。

(フランチャイズ事業)

フランチャイズ事業につきましては、直営店舗及びフランチャイズ店舗の新規出店によりロイヤリティ収益が増加したことから、売上収益は52百万円増加し、466百万円（同12.7%増）となりました。

一方で、上場に係る一過性費用の発生や事業拡大に伴う人員の増加等により、セグメント利益は77百万円減少し、161百万円（同32.3%減）となりました。

(インテリアデザイン事業)

インテリアデザイン事業につきましては、直営店舗及びフランチャイズ店舗の出店数が減少したことに伴い、売上収益は122百万円減少し、317百万円(同27.9%減)となりました。

セグメント利益は人員の増加に伴う人件費の増加により、26百万円減少し、10百万円(同72.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ83百万円減少し、2,237百万円となりました。これは主として、前連結会計年度の末日が金融機関の休日であったため、決済日が当第1四半期連結累計期間になったことによる営業債権及びその他の債権の減少123百万円、未収還付法人税等の計上等に伴うその他の流動資産の増加109百万円、現金及び現金同等物の減少83百万円等によるものであります。非流動資産は、前連結会計年度末に比べ138百万円減少し、16,880百万円となりました。これは主として、減価償却等に伴う使用権資産の減少194百万円等によるものであります。その結果、資産は、前連結会計年度末に比べ221百万円減少し、19,117百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ249百万円減少し、2,582百万円となりました。これは主として、納付等に伴う未払法人所得税等の減少226百万円等によるものであります。非流動負債は、前連結会計年度末に比べ131百万円減少し、9,434百万円となりました。これは主として、リース負債の返済等に伴う減少130百万円等によるものであります。その結果、負債は、前連結会計年度末に比べ381百万円減少し、12,017百万円となりました。

(資本)

資本は、前連結会計年度末に比べ159百万円増加し、7,100百万円となりました。これは主として、親会社の所有者に帰属する四半期利益による利益剰余金の増加116百万円、増資に伴う資本金の増加34百万円等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ83百万円減少し、1,311百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は275百万円(前年同期は357百万円の増加)となりました。これは主に増加要因として減価償却費及び償却費371百万円(前年同期比58百万円の増加)、税引前四半期利益172百万円(前年同期比154百万円減少)、営業債権及びその他の債権の減少122百万円(前年同期比41百万円の増加)等に対し、法人所得税の支払額366百万円(前年同期比111百万円の増加)等の資金減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は122百万円(前年同期は90百万円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出48百万円(前年同期比20百万円の減少)、無形資産の取得による支出37百万円(前年同期比29百万円の増加)等の資金減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は236百万円(前年同期は237百万円の減少)となりました。これは主にリース負債の返済による支出250百万円(前年同期比13百万円の増加)等の資金減少要因があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月15日付で公表いたしました2022年10月期通期業績予想に変更はありません。2022年10月期においては引き続き新型コロナウイルス感染症に伴う各種イベントの減少や在宅勤務の長期化の影響を少なからず受けながらも、業績がいずれも堅調に推移すると見込んでおります。なお、本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年1月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,394	1,311
営業債権及びその他の債権	577	454
棚卸資産	42	55
その他の流動資産	306	416
流動資産合計	2,320	2,237
非流動資産		
有形固定資産	979	970
使用権資産	3,597	3,402
のれん	7,468	7,468
無形資産	4,359	4,392
持分法で会計処理されている投資	11	12
その他の金融資産	385	418
繰延税金資産	191	191
その他の非流動資産	25	24
非流動資産合計	17,019	16,880
資産合計	19,339	19,117

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年1月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	660	678
契約負債	8	31
借入金	654	643
リース負債	950	925
未払法人所得税等	279	52
その他の流動負債	280	250
流動負債合計	2,832	2,582
非流動負債		
借入金	5,247	5,242
リース負債	2,438	2,307
引当金	520	524
繰延税金負債	1,359	1,359
その他の非流動負債	0	0
非流動負債合計	9,566	9,434
負債合計	12,398	12,017
資本		
資本金	90	124
資本剰余金	4,924	4,933
利益剰余金	1,924	2,040
その他の資本の構成要素	1	1
親会社の所有者に帰属する持分合計	6,940	7,100
資本合計	6,940	7,100
負債及び資本合計	19,339	19,117

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)
売上収益	2,613	2,700
売上原価	△1,351	△1,344
売上総利益	1,262	1,356
販売費及び一般管理費	△915	△1,138
その他収益	9	9
その他費用	△0	△32
営業利益	355	194
金融収益	0	1
金融費用	△30	△24
持分法による投資利益又は損失(△)	0	1
税引前四半期利益	326	172
法人所得税費用	△115	△56
四半期利益	210	116
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	210	116
四半期利益	210	116
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	14.31	7.88
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	14.00	7.71

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)
四半期利益	210	116
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△0	△0
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△0	0
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△0	△0
税引後その他の包括利益	△0	△0
四半期包括利益	210	116
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	210	116
四半期包括利益	210	116

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
2020年11月1日時点の残高	90	4,985	922	1	5,998	5,998
四半期利益	—	—	210	—	210	210
その他の包括利益	—	—	—	△0	△0	△0
四半期包括利益合計	—	—	210	△0	210	210
新株の発行	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	△0	△0	△0
所有者との取引額合計	—	—	—	△0	△0	△0
2021年1月31日時点の残高	90	4,985	1,133	1	6,209	6,209

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
2021年11月1日時点の残高	90	4,924	1,924	1	6,940	6,940
四半期利益	—	—	116	—	116	116
その他の包括利益	—	—	—	△0	△0	△0
四半期包括利益合計	—	—	116	△0	116	116
新株の発行	34	8	—	—	43	43
株式報酬取引	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	34	8	—	—	43	43
2022年1月31日時点の残高	124	4,933	2,040	1	7,100	7,100

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	326	172
減価償却費及び償却費	313	371
減損損失	—	7
持分法による投資損益 (△は益)	△0	△1
金融収益及び金融費用	29	23
固定資産除売却損益 (△は益)	—	12
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	80	122
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2	△12
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△110	△13
契約負債の増減額 (△は減少)	11	22
その他	△17	△41
小計	634	663
利息の支払額	△22	△20
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△254	△366
営業活動によるキャッシュ・フロー	357	275
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△68	△48
無形資産の取得による支出	△8	△37
差入保証金の差入による支出	△8	△33
差入保証金の回収による収入	2	0
その他	△7	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90	△122
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△0	△18
リース負債の返済による支出	△237	△250
株式の発行による収入	—	32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△237	△236
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	28	△83
現金及び現金同等物の期首残高	1,217	1,394
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,246	1,311

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営者が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは持株会社体制をとっており、当社は持株会社としてグループ経営戦略の策定及びグループ会社の経営指導等を行い、各子会社において事業活動を展開しております。当社グループは、事業の種類別に「直営美容室運営事業」、「フランチャイズ事業」及び「インテリアデザイン事業」の3つを報告セグメントとしております。

直営美容室運営事業は、当社グループにおける直営店舗の運営による美容サービスの提供を行っております。

フランチャイズ事業は、当社グループのフランチャイズ加盟店に対して、経営指導、企業ノウハウ及び教育研修の提供、プライベートブランド商品の販売、材料仕入、広告代理業務、採用、経理や管理業務の代行等を行っております。

インテリアデザイン事業は、美容室等の内装デザインや施工業者のアレンジ等のサービス提供を行っております。

(2) 報告セグメントに関する情報

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。なお、セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

前第1四半期連結累計期間（自 2020年11月1日 至 2021年1月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額
	直営美容室 運営事業	フランチャ イズ 事業	インテリア デザイン 事業	計				
売上収益								
外部収益	2,028	245	340	2,613	—	2,613	—	2,613
セグメント間収益	—	168	100	268	113	381	△381	—
計	2,028	413	440	2,882	113	2,995	△381	2,613
営業利益	47	239	36	322	43	366	△10	355

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、本社管理事業等を含んでおります。

2. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

当第1四半期連結累計期間（自 2021年11月1日 至 2022年1月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額
	直営美容室 運営事業	フランチャ イズ 事業	インテリア デザイン 事業	計				
売上収益								
外部収益	2,182	302	215	2,700	—	2,700	—	2,700
セグメント間収益	—	163	102	266	196	462	△462	—
計	2,182	466	317	2,966	196	3,162	△462	2,700
営業利益又は営業損 失(△)	△55	161	10	116	87	204	△9	194

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、本社管理事業等を含んでおります。

2. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

(1株当たり情報)

(第1四半期連結累計期間)

(1) 基本的1株当たり四半期利益の算定上の基礎

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益(百万円)	210	116
期中平均普通株式数(株)	14,736,320	14,776,537
基本的1株当たり四半期利益(円)	14.31	7.88

(注) 当社は2021年9月4日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行いました。2021年10月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して基本的1株当たり四半期利益を算定しております。

(2) 希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する四半期利益(百万円)	210	116
期中平均普通株式数(株)	14,736,320	14,776,537
希薄化効果のある普通株式数		
ストック・オプションによる増加(株)	326,335	326,625
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	15,062,655	15,103,162
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	14.00	7.71

(注) 当社は2021年9月4日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行いました。2021年10月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。